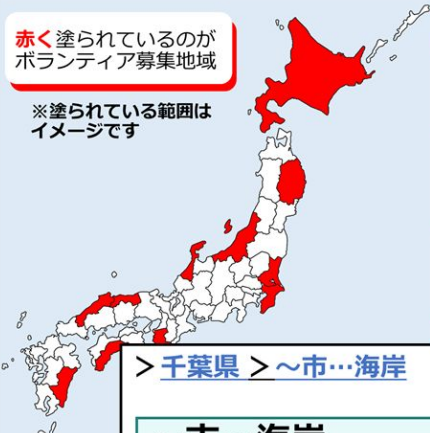


# 海岸清掃ボランティアの情報共有に向けた プラットフォームの提案

海ごみチーム 海洋問題演習 最終発表  
菅原茉穂・潘琳・平岩純・山田廉・網中結仁  
2024/01/15

赤く塗られているのが  
ボランティア募集地域

※塗られている範囲は  
イメージです



### Pick Up

沖縄県 ~市

岩手県 ~市

千葉県 ~市

茨城県 ~市

> 千葉県 > ~市...海岸

### ~市...海岸



実施日程 : 2 / 24 ~ 2/28

▶ 開催内容 : ゴミ拾い

▶ 募集期間 : ~ 2 / 23

▶ 募集人数 : 10人  
(現在 5 / 10)

※期間内に人数に達しなかった場合でも  
開催いたします

▶ 賞与 : 無償

一般参加

企業参加

参加

参加

#### ▶ 詳細

~湾にて海岸ゴミ拾いを行っていただける方募集中!  
実施期間のいずれかの日にお越しください(複数日可)。  
参加される方は、係員からゴミ袋とトングをお受け取りください。

# 海岸清掃ボランティア専用の プラットフォーム

いつ、どこで、どんなボランティアが必要と  
されているのかが一目でわかる

『ボランティアをしたい人』と  
『ボランティアに来てもらいたい人』を  
繋げられる

プラットフォームとなるような情報発信サイト

# 海洋ゴミの実態について、ネットで調べてみると、、

- ・いわゆる「海洋プラスチック問題」の一般的な説明は見つかる

例)魚が食べると...

- ・ゴミ拾いイベントを報じたニュース記事は見つかる

- ・海岸清掃ボランティアの募集も見つかる

⇔

- ・個別の場所でどのくらいゴミが落ちているのか、定期的なゴミ拾いは行われているのか、各地方自治体は何をしているのか、といった話は見つからない

→近隣自治体に実際に伺うことに

# 取材して分かったネットではわからない話-1



- ・取材先→藤沢市、かながわ海岸美化財団（辻堂）、館山市
- ・ゴミの量は時期・場所によって大きく異なり、全くゴミが落ちていないこともしばしば
- ・流木が圧倒的に多い
- ・ボランティア以外に地方自治体による取り組みも多数

取材時の辻堂。ゴミは全くない

## 取材して分かったネットではわからない話-2



取材時の館山。プラスチックゴミも多少あるが、それよりも流木の存在が目立つ

# 取材先自治体の取り組み

藤沢市・かながわ海岸美化財団→

かながわ海岸美化財団の委託する業者が、質量ベースで9割のゴミを回収

- ・神奈川県及び市区町村から予算が出る
- ・大きなゴミが中心

館山市→

海岸ゴミの処理を専門に行う職員を5名雇用 重機など使用し大きな流木も対応

目的は観光面だが、プラスチックゴミも拾う

両自治体共通→

ボランティアが回収したゴミは、一部の例外を除き無償で処理

ボランティアに関しても、外部に報道されないような、地元住民の定期的なものが重要

# 鹿谷さんに再取材

前期の講義でお世話になった鹿谷さんにも沖縄の実態を取材しました

- ・沖縄の場合は漂流ゴミの影響が大きい
- ・ボランティアの存在が必要不可欠ゴミの絶対量が多いため
- ・場所ごとにボランティアの環境が異なる駐車場の有無(車社会)など
- ・直近でいつ掃除されたか、などの情報も共有されていない

↓は関東近郊と共通

地方自治体がゴミの処分を支援

自治体ごとに違いが大きい

# 海洋ごみの実態を調査すると…

海洋・海岸ゴミ問題についてネットで調査

→収集できる**情報に偏りがある**ことが判明した

**情報量が多い・すぐ集まる**

- いわゆる『海洋プラスチック問題』  
ex) 海洋生物の誤飲など
- ゴミ拾いイベントのニュース記事
- 地域限定の清掃イベント募集



**情報量がほとんどない**

- 各地の海岸ゴミの実態・課題
- 各地の海岸清掃への取り組み
- 清掃ボランティアの具体的な需要  
(どこに、何人必要なのか)

海岸清掃に積極的なごく一部の地域の情報は集まりやすいが、**その他の大部分ではほとんど情報が集まらない。**

→ **各地の現状を調査するべく取材へ**



# 取材先

## ①海岸清掃が積極的に行われている（情報が集めやすい）地域

- ▶ 神奈川県藤沢市：市役所 + かながわ美化財団
- ▶ 千葉県館山市：市役所

## ②海岸清掃（海洋ごみ）に問題を抱えている地域

- ▶ 沖縄県（オンライン）：しかたに自然案内

## ③日本全域

- ▶ 一般社団法人JEAN

『海岸清掃が行われていない地域』にも取材したかったが、前述の通りそういった地域の情報は集まらないため、**そもそもどこがこれに該当するかすらわからなかった…**

# 取材結果：海岸清掃に積極的な地域

## ①神奈川県藤沢市＋かながわ美化財団

- ▶ **ボランティアは十分足りている**  
(人員不足の課題はない)
- ▶ ボランティアをしやすい制度づくり  
→ごみ回収場所の改定
- ▶ **神奈川県からの援助が非常に強力**  
(正直ボランティアがいなくてもやっていける)

## ②千葉県館山市

- ▶ 市の職員＋自治体の取り組み多数  
→**最低限の海岸清掃は実施できている**
- ▶ プラスチックごみよりも**流木の処理に困っている**  
→現状職員が対応。  
良い回収業者がいれば助かる

## まとめ

- ▶ どちらの地域も海岸清掃は行われている  
＋**団体・個人による海岸清掃ボランティア活動も多数あり、充実している**
- ▶ 海岸漂着物等の課題はある
- ▶ 地域ごとに**海岸ゴミの種類が異なる**

神奈川県 辻堂海岸



千葉県 館山市



# 取材結果：海岸清掃に難あり&日本全体

③沖縄県：しかたに自然案内 鹿谷さん

- ▶ 海岸清掃は**積極的に行われている**  
+ **地域住民の意欲が高い**

↓しかし…

**漂着ゴミが多すぎて追いついていない**

- ▶ **各行政の連携がないので、どこで清掃が必要とされているかわからない**  
(行ってみたらゴミがないこともしばしば)

④日本全体：一般社団法人 JEAN 小島さん

- ▶ 時期・海域によってゴミの量は異なる
- ▶ ボランティアを必要とする地域は多いが、**ボランティアの受け入れ体制の整備や情報発信の労力が障壁となっている**
- ▶ 行政の連携・連絡は重要

## まとめ

- ▶ **時期・海域によってごみの種類・量・回収コストが大きく異なる**
- ▶ **熱意があったとしても、情報がないと円滑な活動が困難になる**

# 取材から文献調査へ

取材結果から、海岸清掃に難がある地域における課題として

- ①自治体のリソースが足りない
- ②ボランティアが十分に集まっていない
- ③海岸清掃に関する情報が十分に流布されていない

} この2つは工夫によって  
解決可能  
→ 社会提言のターゲット

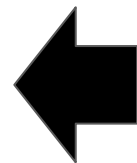
今回の社会提言の方向性を以下のように仮定

- ③(情報不足)を是正すれば、
- ②(ボランティア不足)が改善され、  
海岸ごみ問題の解決が進む



Q. ボランティア不足の原因は  
本当に情報不足なのか

Q. 海岸清掃にボランティアは  
本当に必要なのか



文献調査  
で立証

# 文献調査①(Q. 海岸清掃においてボランティアは本当に必要か)

## A. 一般的に、ボランティアがいないと海岸清掃は回らない

(=ボランティア不足へのアプローチは海岸ごみ問題解決への貢献になる)

幅広い地域の海岸清掃の実態を調査した文献における記述として、

- 「**県や美化財団の清掃活動は、予算に合わせて策定された計画通りに執行される**ことが原則となり、ビーチクリーン活動団体や沿岸地域の関係者が**日常的にゴミ拾いに手を貸してくれることが根幹的に重要**」(2023、伊藤)
- 「各モデル地域では、自治会、NGO、漁業協同組合等が中心となり、定期的に海岸清掃活動が行われている。これらの清掃活動の努力により、各地の海岸の清潔が維持されており、海岸の環境保全において、**地域住民等による海岸清掃活動は大きな意義を有する**」(2010、環境省)

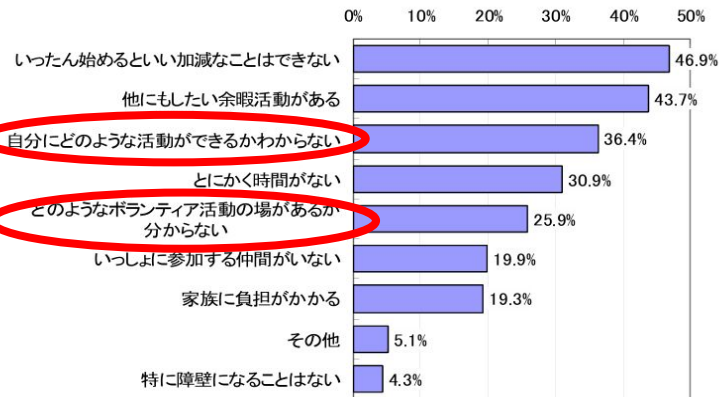
⇒ **行政による清掃だけでは不十分**・**地域住民などによる定期的な清掃活動が必要**

# 文献調査②(Q. ボランティア不足の原因は本当に情報不足なのか)

A. 各地域での海岸清掃のニーズが情報として共有されていないことが、ボランティア参加を阻害している(=情報共有の促進によってボランティアを増やせる)

## ボランティア参加を阻害する外的要因

図表 2-2 3 ボランティア活動に参加する上での障壁



(2016年、文部科学省)

ボランティア不参加の理由: 「情報が無い」

→ 36.4% + 25.9%

## 地域ごとの情報把握の重要性

地域によって海岸の特性が異なる  
(地理的状況、社会的状況など)

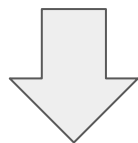
→ 地域ごとにボランティアのニーズも異なる

→ 地域単位で情報を仕入れる必要あり

「各地域の実情に応じ、それぞれの流域特性に着目した具体的なごみの発生抑制対策や関係者の連携のあり方について検討を進めていくことが重要である。」(環境省、2010)

# 取材・文献調査を踏まえた社会提言の方向性

ゴール: 各地域の海岸清掃のニーズを情報として広く共有することで、海岸清掃に困難を抱える地域でのボランティア活動参加者を増やす



具体的な提言として、

いつ、どこに、海岸清掃ボランティアの需要があるかを把握できる

情報共有プラットフォームとしてのwebサイトを作成

→ まず既存の同種のプラットフォームを確認



# 既存の同種のプラットフォーム

ボランティア情報を広域に発信する既存のプラットフォームの例

山形県「カワカラ・ウミカラ」

カワカラ・ウミカラ

美しいやまがたの海プラットフォームが運営する、海と川のごみ問題を学ぶページ

広島県「GREEN SEA 瀬戸内広島宣言」



2050 輝く GREEN SEA  
瀬戸内ひろしま宣言

# 既存の同種のプラットフォームの問題点

- ・ボランティア団体からの情報を転載するのみ

- 網羅性・即時性に欠ける

- 「自分の近くで何かなされているか」が見にくい

- 活動可能なタイミングも限られる

- ・ボランティア団体が積極的なイベントの運営をすることを前提にしており、一般市民が自主的にゴミ拾いをする際に必要な情報が手薄

- 人手や予算に欠ける市区町村の参入ハードルが高い

## 取材と文献のまとめ

- ・地域によってボランティアの現状が異なる

業者や市が海岸清掃を行う⇔ボランティアの人手が足りない

→地域ごとの違いが大きい、その違いを把握することが難しい

- ・いつ、どこで、どのようなボランティアが必要とされているのかがわかれば、ボランティアに参加するハードルが下がる

- ・既存のプラットフォーム：地域の範囲が限定的、一般市民が自分の近くで参加できるボランティアをタイムリーに知ることができない

必要な時・場所に効果的にボランティア活動が行われるためのプラットフォームが必要

# プラットフォーム（PF）に要されるもの

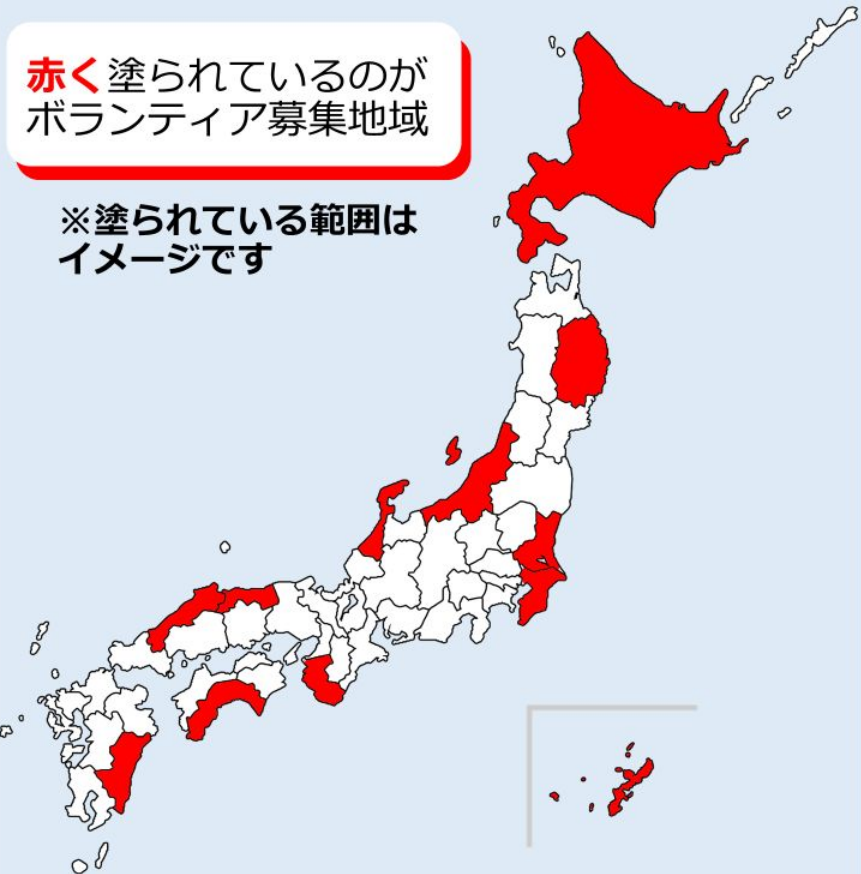
- 地域ごとの違いを把握できない  
→ **全国各地の情報の俯瞰**
- いつ、どこで、どのようなボランティアが必要かわからない  
→ **状況報告と具体的な要望(依頼)の掲載  
+ 報告・予告掲示板**
- 現状特定の地域しかPFがない = 募集をかけるハードルが高い  
→ **使いやすい募集作成フォーム**

PFイメージ



赤く塗られているのが  
ボランティア募集地域

※塗られている範囲は  
イメージです



## Pick Up

[沖縄県 ~市](#)

[岩手県 ~市](#)

[千葉県 ~市](#)

[茨城県 ~市](#)

[宮崎県 ~市](#)

## ①俯瞰ページ

- ▶ URLを踏んで初めに表示されるHOMEの想定
- ▶ 色（赤）が塗られている都道府県をクリックすると、その都道府県専用のページにとぶ

## メリット

- 現在ボランティアを募集しているorしていないが、**全国まとめて一目でわかる**
- 各地のデータを1か所のまとめ、**募集地を探す労力を軽減**

## > 千葉県



### News

★ イベント情報

👤 活動報告 ~市

★ イベント情報

### Pick Up

~市

~市

~市

## ② 地域専用ページ

- ▶ 各都道府県の専用ページ
- ▶ 募集地をピン 📍 で表示
- ▶ ピンにマウスをかざすと簡単な紹介が表示される

## メリット

- ワンクリックで  
全国 → 都道府県  
まで絞り込める
- イベント情報で **意欲向上**

## ～市…海岸



**実施日程：2 / 24 ～ 2/28**

▶ **開催内容**：ゴミ拾い

▶ **募集期間**：～ 2 / 23

▶ **募集人数**：10人  
(現在 5 / 10)

※期間内に人数に達しなかった場合でも  
開催いたします

▶ **賞与**：無償

一般参加

**参加**

企業参加

**参加**

### ▶ 詳細

～湾にて海岸ゴミ拾いを行っていただける方募集中！  
実施期間のいずれかの日にお越しください（複数日可）。  
参加される方は、係員からゴミ袋とトングをお受け取りください。

## ③ 詳細ページ (一般向け)

▶ 必要な情報を最低限まとめる

## メリット

募集期間と人数を絞り、**人が  
集まりすぎるのを防ぐ**

**企業参加**も促す

● **このページだけで**参加  
するために必要な情報を集  
められる

## 館山市…海岸



**実施日程：未定**

▶ **依頼内容：流木の処理**

流木は回収困難なため、開催日程等は参加者が集まったのちに計画を立て、改めてご連絡いたします

▶ **賞与：有償**

賞与額は応相談（交通費支給）

一般参加

参加

企業参加

参加

▶ **詳細**

海岸に漂着する流木の処理のご依頼

※大型の流木は非常に重く危険な作業となりますので、一般募集は行っていません

## ④ 詳細ページ

(企業・業者向け)

- ▶ 一般のボランティアでは困難な依頼を掲載

## メリット

- 回収困難なため**放置される**しかなかった対象も**処理**ができる
- **仲介の役割**を果たす  
**依頼側**：どこに依頼をすればよいかわからない  
**業者や企業**：技術や社会貢献をアピールしたい



募集地名 番地

地名



イメージを投稿

実施日程 :

▶ 開催内容 :

▶ 募集期間 :

▶ 募集人数 :  人

▶ 賞与 :

一般参加

企業参加

参加

参加

▶ 詳細

## ⑤募集作成フォーム

- ▶ 依頼ページの要項をそのまま空ボックス化

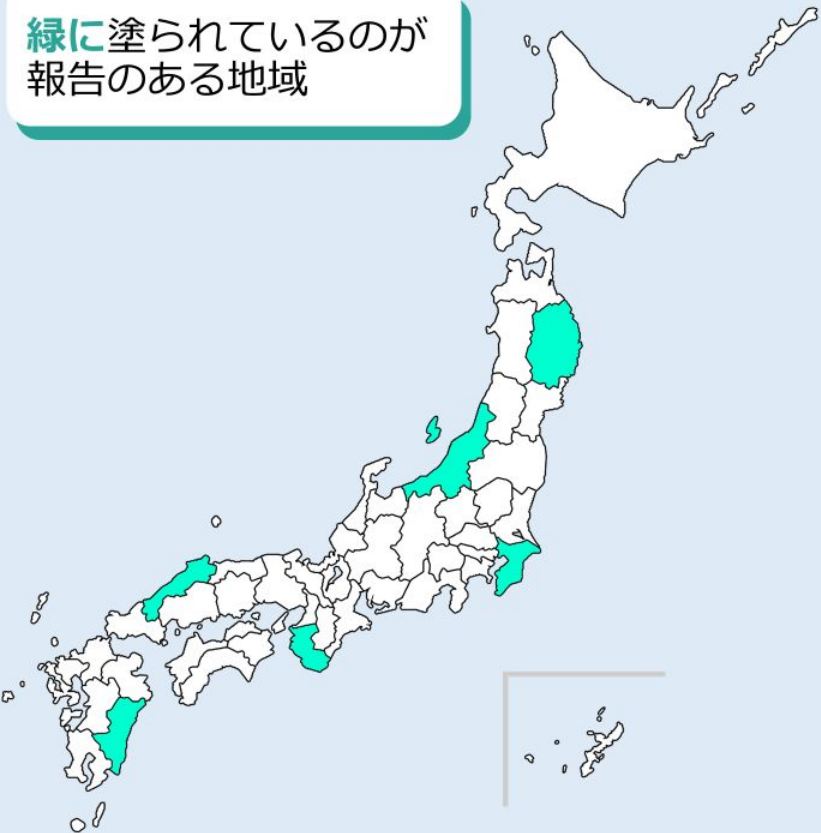
### メリット

- 空欄を埋めるだけで募集ページを作成可能  
→ **募集のハードルを下げる**

※作成は各行政機関を想定  
(特定の団体が募集をかける場合は、その地域に行政に連絡をする)

## > 掲示板

緑に塗られているのが  
報告のある地域



### 参加予定 Timeline



～県…市



～県…市



～県…市

### 参加報告 Timeline



～県…市



～県…市



～県…市

## ⑥ 掲示板

- ▶ ボランティアの参加予告や参加報告を地域別に集計
- ▶ タイムラインにリアルタイムで表示される

## メリット

- 人の集中具合がリアルタイムでわかる  
ブッキングも防げる
- 他人の予告・報告を見る  
&  
自分が投稿する  
→ 意欲向上

# まとめ

## 海岸ゴミ清掃の課題

- ・地域によって必要なボランティアの量やゴミの種類が違う  
→この情報が周知されていないor情報が得づらい
- ・地域の違いを把握し、必要な場所・時に適した人数のボランティアが集まることができるプラットフォームがない



## 新しいプラットフォームの提案

- ・全国の中でボランティアを必要としている地域がわかる
- ・必要な時に必要な人数のボランティアが活動できる
- ・参加者の意欲向上も図る

# 本提言の課題・展望

## 本サイトをどのようにして全国に定着させるか

まずはサイトを全国の自治体に普及させる必要がある

→「誰」がサイトを運営するかが重要

## 誰が本サイトを作成、運営するか

候補①:環境省

メリット:全国の自治体に働きかけやすい / デメリット:サイト運営と行政の親和性

候補②:海ごみ問題への関心が高い企業・NPO

メリット:行政よりも柔軟な運用が可能・企業自身の評価アップも / デメリット:全国への普及の困難さ